



注意

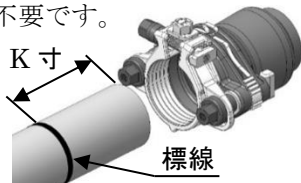
- ・ ストップリング内面は素手で触ると危険ですので十分注意して下さい。
- ・ 必ず施工手順を守り、施工して下さい。
- ・ 施工手順を守らない場合、漏水等事故の危険性があります。
- ・ 手順とは違い、ストップリングを先に本締めした場合、締付トルクが高くなります。

① パイプ挿入量記入

パイプとインコアのSDRが合っていることを確認して下さい。

パイプ挿入量 (K 寸) を測り、**標線**を記入して下さい。

〔パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。〕
〔滑剤の塗布は不要です。〕



② インコア挿入

インコアを矢印の方向に挿入して下さい。

〔パイプ端面よりインコアが出ないように、**樹脂製ハンマー**などで打ち込んで下さい。〕

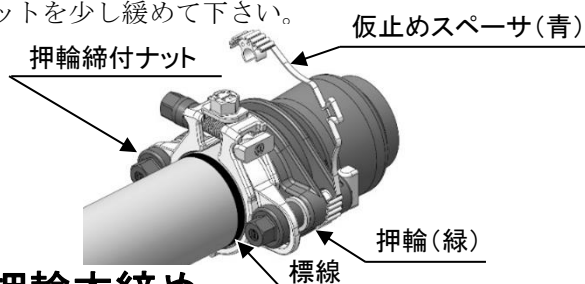
- ・ 呼び径 75 以上でインコアがパイプ端面で止まらない場合は、ハネをドライバーなどで起こして下さい。
- （既設管は膨張している可能性があるため）



③ パイプ挿入

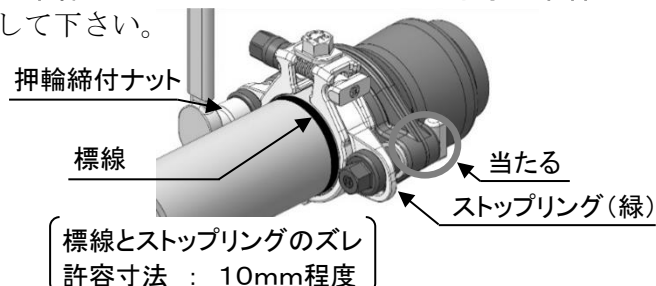
分解せずに継手を**標線**まで入れ、仮止めスペーサを取り外します。

- ・ 仮止めスペーサが外れにくい場合は押輪締付ナットを少し緩めて下さい。



④ 押輪本締め

パイプが仮固定するまで、**押輪締付ナット**を軽く手締めした後、ストップリングは押輪と接した状態で**標線**と合わせ、押輪締付ナットを押輪が本体に当たるまで数回にわたり**均等**に本締めして下さい。



□ K 寸の表と締付状態・ボルトサイズ

呼び径	K (mm)	締付状態 (参考締付トルク N・m)		ボルトサイズ
		押輪	ストップリング	
40	90	(30~40)	(25~45)	M10
50	90	(35~45)	(25~45)	M16
75	100	(35~45)	(30~50)	M16
100	130	(35~45)	(50~70)	M16
150S	145	(40~50)	(60~80)	M16・M20
150	155	(40~50)	(80~100)	M20
200	200	(50~70)	(90~110)	M24

※ () 内は当て締め時の参考締付トルクとなります。
低温時は締付トルクが高くなります。

⑤ 開放ナット・開放工具取り外し

開放ナット・開放工具を取り外します。

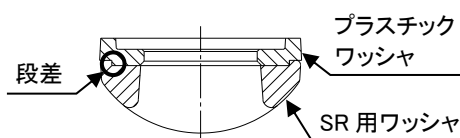
- ・ 開放ナットの外し方は、開放ナットを「S」の方向（左回り）に回して取り外して下さい。
- ・ 開放工具の外し方は、六角ボルトを緩める方向に回して取り外して下さい。



⑥ ストップリング仮締め

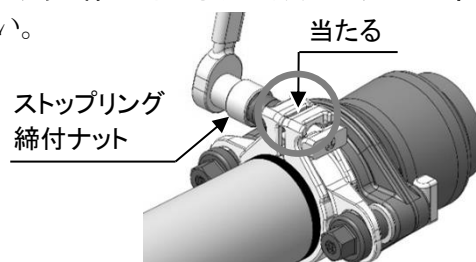
ストップリング締付ボルトのガタツキがなくなるまで締付ナットを手締めして下さい。

呼び径 100~200 は **SR 用ワッシャ**と **プラスチックワッシャ**の段差がきちんとはまっていることを確認して下さい。



⑦ ストップリング本締め

ストップリング先端が当たるまで締付ナットを**本締め**して下さい。



1. 分解した時の施工手順

分解図

開放ナット

ストップリング締付ナット

⑤押輪締付ボルト

④本体

③パッキン

⑧仮止めスペーサ

②押輪

①ストップリング

⑥押輪用平座金

⑦押輪締付ナット

呼び径	40・50	75	100	150S~200
⑤押輪締付ボルト	2			
⑥押輪用平座金	—	2	3	4
⑦押輪締付ナット	2			
⑧仮止めスペーサ	1	1	1	2

※番号は組み立てる順番を表す。

2. 分解施工時の注意事項

※1 ストップリングの向き
「MPX」「MWX」の
鋳出しマークの
ある側が管挿入側

※2 押輪の向き
鋳出しマークのある側が
ストップリング側

※3 パッキンの向き
テーパ面に
複数リブの
ある側が本体側

押輪締付ナット

ストップリング※1

押輪用平座金

押輪※2

本体

パッキン※3

押輪締付ボルト

注意

・分解した受口を組み立てる際は、
部品の向きに注意して下さい。
部品の向きを間違えた場合、
漏水等事故の危険性があります。

3. 開放ナット使用手順（呼び径 40～150）

① 押輪を緩める
押輪を緩めて下さい。

② ストップリングを緩める
ストップリングを分解
しない程度まで緩めて
下さい。

③ 開放ナットの取り付け
開放ナットを挿入し、開放
ナットを「O」の方向
（右回り）に 90° 回して
下さい。

④ パイプの開放
パイプを外して下さい。

4. 開放工具使用手順（呼び径 200）

① 押輪を緩める
押輪を緩めて下さい。

② ストップリングを緩める
ストップリングを分解
しない程度まで緩めて
下さい。

③ 開放工具の取り付け
開放工具を取り付け、六角
ボルトを締める方向
に回してストップリング
を開いて下さい。

④ パイプの開放
パイプを外して下さい。